



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax24-8204  
ホームページ [www.icp-isesaki.net/](http://www.icp-isesaki.net/) メールアドレス [sigidan@icp-isesaki.net](mailto:sigidan@icp-isesaki.net)

## 交通弱者の「足」確保は待ったなし

6月定例会が6月12日～28日に開催され、長谷田公子市議が一般質問を、北島元雄市議が議案質疑を行いました。

### 有料化で乗降者数激減のコミュニティバス

市は今年度コミュニティバスの契約を貸切バスから乗合バスに変更し、有料化しました。

このため、4月の乗降客数は、前年同月と比べて約9千人（28%）減りました。本当は無料になるのに「有料では乗れない」と乗車をやめた人が、いるようです。

どんな人が無料になるのかを、しっかり広報するよう求めました。

※高齢者・高校生以下・障害者などは無料。

また、小型のバスを導入すると、運行可能な経路が増えます。今後のコミュニティバス改善の検討に、小型化も織り込

むよう提案しました。

### 高齢者タクシー券冷たい交付制限やめて

「免許を返納したらもらおう」と考えている人も多いタクシー券ですが、市は同居家族だけでなく隣の敷地に住んでいる甥・姪まで含め、車に乗る親族がいると対象外にしています。

「自分の子どもにさえ仕事を休んで送迎を、とは頼めない。ましてや甥・姪に頼めるはずが無い」と、落胆の声が寄せられています。

「車に乗れない人には交付を」と、強く求めました。

### 地域公共交通会議でデマンドタクシー検討を

市は主にバスの再編等を検討するため、地域公共交通会議で調査を

始めます。

路線改善でも、全市をカバーは困難です。

電話予約で迎えに来る乗合いタクシーやデマンドタクシーの導入こそ、待たれています。

### ひきこもりに支援体制を

不登校や中学校卒業時に就職も進学も少ないケースが他市より多い伊勢崎市では、ひきこもりの問題はますます深刻だといえます。

ひきこもりが長期化するすると、親の高齢化で病気や介護がのしかかり、一家が孤立、困窮するケースが目立ってきています。

様々な事例が明らかになる中、国はようやく中高年のひきこもりについて実態把握に乗り出すことになりました。市としても、個人情報に配慮しつつ実態把握に努めるべきです。

また、市役所に気軽に相談できる窓口を設け支援につなげるなど、「今できる対応を急いで」と強く求め、検討が



乗降客数が28%も減ったコミュニティバス